



下京のひびき

市民しんぶん
下京区版

1/15

人口概数 70,570人
男 32,929人
女 37,641人
世帯数 30,860世帯
(平成7年10月1日現在)

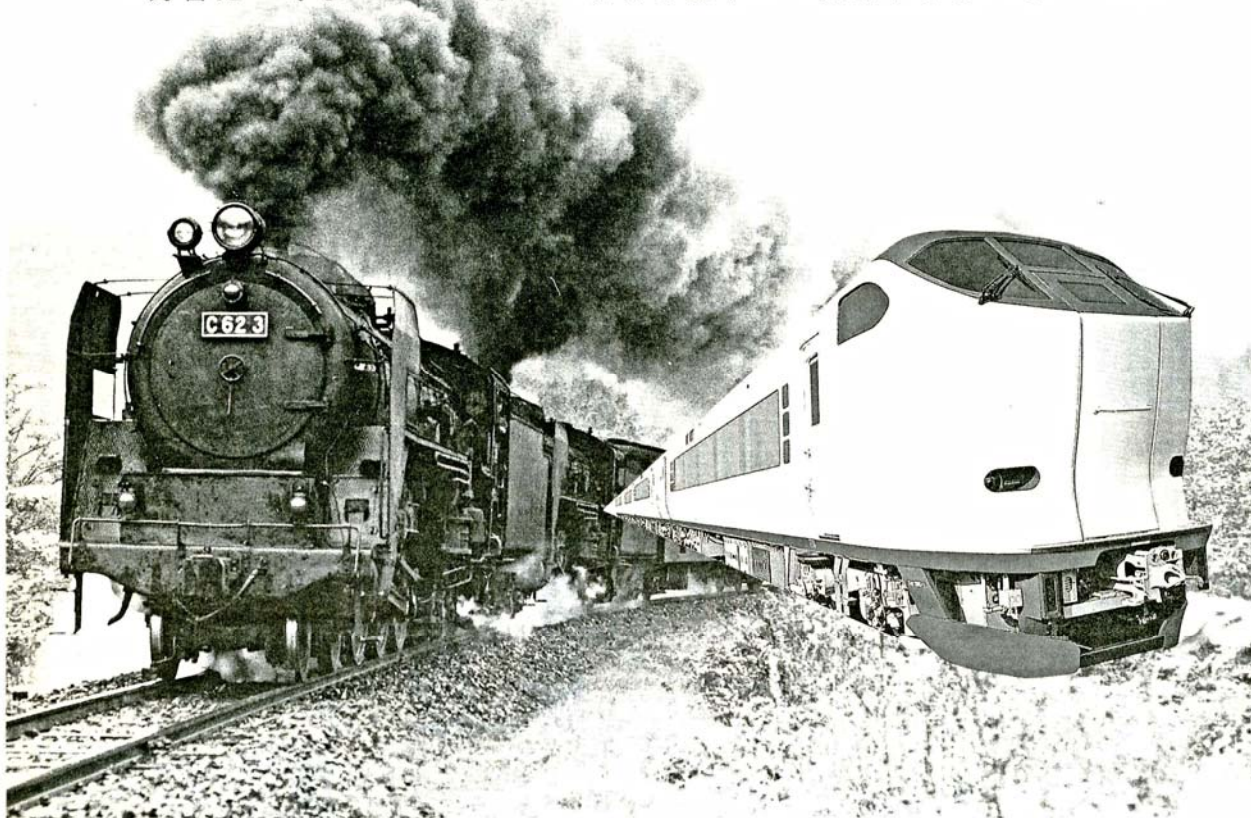


京都市長
田邊朋之

新年明けましておめでとうございます。
このたび、「市民しんぶん」の下京区版を創刊いたしました。市民しんぶんはこれまで毎月1日と15日に発行しておりましたが、「平成の京づくり」推進のための市政改革の一つとして、毎月15日号をそれぞれの区の個性を生かし、独立して各区役所で発行することになりました。
下京区民の皆さんには、これまで以上に身近で、よりきめ細かな生活情報をお届け出来るとともに、区役所と区民を結ぶ地域コミュニティ紙として大きな役割を果たすものと考えております。
今後、より充実した紙面づくりに向け、皆さんのご支援・ご協力をお願いいたします。

魅力ある情報を乗せて

「区版創刊号」発進!



1996年の
年頭にあたって

下京区長 中村 誠伺

新年明けましておめでとうございます。

下京区民の皆様方にはご壮健にて新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、下京区政推進に当たり格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

新春よりこの「市民しんぶん」下京区版を、毎月15日に区役所が「下京のひびき」の名称で発行します。

これは、昨今の情報量の増大により区単位の催しや生活情報等について、きめ細かく情報を収集・発信し地域の特性を生かした文化の香り高い魅力ある広報を行うためです。

さて、安全で豊かな住み良い下京区を築くためには、高齢化社会を見据えた福祉の充実、京都駅の改築など世界に向けた地域開発、地場産業の振興と商業地の活性化及び生涯学習・生涯スポーツの振興が大きな課題です。これらの解決に向け、関係機関のご協力を得て強力に推進していきます。更に、この事業推進には、地域社会の活性化と区民の連帯が必要であり、「下京区ふれあい事業」などに積極的に取り組んでいきます。

最後に、私も区役所職員一同、市民サービスの向上と下京区発展のため全力を傾注する所存ですので、今年も区政に対しまして皆様方のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

きっと懐かしい ずっと新しい ときめき京都